

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年2月2日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	関東学園大学		代表者名	斉藤大二郎
担当者部署	経済学部 経営学科		連絡先電話番号	0276-32-7869
担当者役職	准教授	担当者氏名	中谷淳一	連絡先E-mail
住所	373-8515 群馬県太田市藤阿久町200番地			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	太田市	連絡先部署	企画部企画政策課
担当者氏名	齋藤尚仁	連絡先電話番号	0276-47-1892
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体、企業、組織団体におけるDX推進の要諦を的確にアドバイスを頂きました。
アドバイザーへの要望事項	特に無し

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年12月11日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	企業・自治体・組織団体の経営者・社員・職員	16人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	
	関係機関の連携、具体的な一歩となる取り組み事業の検討	
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	
	研究会を通じて地域活性に資する事業が立ち上がり、推進されている状態	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	
	地域活性とDXの関わり、自治体における取組事例、太田地域での取り組みイメージ	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	
	それぞれが具体的な一歩を踏み出すべく事業を検討する必要性を共有できた。	
	具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	特になし。
	アンケートの内容と分析結果	
	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 年度終わりに実施予定	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	研究会を通じて地域活性に資する事業が立ち上がり、推進されている状態	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

